

## 2027年度 UNHCR 難民高等教育プログラム募集要項

早稲田大学大学院（修士課程・博士後期課程）：日本語で学位を取得することを目指す者

### 1. UNHCR 難民高等教育プログラム

UNHCR 難民高等教育プログラム（UNHCR Refugee Higher Education Program: RHEP）は、パートナー大学との協働により、UNHCR および RHEP 難民教育推進協会が運営し、その実施事務局の名称を UNHCR 難民高等教育プログラム事務局（以下「RHEP 事務局」）としています。

### 2. 募集内容

早稲田大学との協働によって実施される難民高等教育事業の対象となる者を選考し、同大学に推薦します。

#### 1) 募集研究科（修士課程・博士課程）

研究科	
社会科学研究科	修士課程・博士後期課程（2027年4月入学） *日本語での学位取得となります
アジア太平洋研究科	修士課程・博士後期課程（2027年4月入学） *日本語または英語での学位取得となります

#### 2) 募集人員 早稲田大学募集研究科全体で 1～2名（日本語または英語で学位を取得することを目指す者）

#### 3) 応募資格 以下のすべての資格を有する者

- 難民、又は国際保護を必要としている者であり、日本政府により在留資格を付与されている者（日本国籍を有しない者）
- 経済的な理由等により日本における高等教育の修学が困難な者
- プログラムの趣旨を理解し、学業に専念する強い意思を有する者
- 大学院（修士または博士後期課程）で学ぶ十分な学力を有すること
- 大学院の授業を受けるのに**必要かつ十分な語学能力**を有する者
- 早稲田大学の定める出願資格を有していること\*

\*大学の求める応募資格については早稲田大学の募集要項をご参照下さい

#### 4) 奨学金の内容

就学するに当たって学生が支払うべき、学費（入学検定料、入学金、授業料等）は大学側の負担になります。

生活費等のため別途学外財団等への奨学金に申請できますが、採用が保証されるものではありません。**財団等から奨学金の支援を受ける場合、簡単な日本語を使った面接や行事への参加が求められる場合があります。博士後期課程については、在籍3年目の奨学金受給が難しい可能性がございますので、あらかじめご了承ください。**

#### 5) スケジュール

UNHCR/RHEP 難民教育推進協会による選考プロセス

- 募集期間 2026年7月3日（金）から2026年8月3日（月）まで
- 筆記試験 2026年8月22日（土）
- 面接試験 2026年8月29日（土）
- プログラムが早稲田大学に推薦する者の決定 2026年9月上旬

早稲田大学による選考プロセス

詳細は大学の募集要項をご確認下さい。

\*本プログラムでは、早稲田大学に推薦する学生を選考します。最終的な合否は早稲田大学が決定します。

\*早稲田大学社会科学部研究科については特別選考制度に基づく選考プロセスとなります。2027年4月入学者向けの出願期間は2026年12月11日～2027年1月15日となります。その際、出願時に提出が必要な入学検定料等振込証明書については、RHEPからの検定料免除に関するレターの提出をもって代替可能とします。

\*早稲田大学アジア太平洋研究科（GSAPS）の出願期間は、2026年8月18日から9月1日までとなり、オンライン出願システムへの入力や、書類準備には一定の時間がかかります。**受験希望者は RHEP での面接選考結果の発表を待たずに期限までに**出願をお願いいたします。その際、GSAPS が指定する方法により検定料（出願料）をお支払いいただく必要があります。ただし、RHEP での面接選考の結果、候補者として推薦された場合は、GSAPS の入学試験の合否にかかわらず、後日、検定料を全額返還いたします。一方、候補者として推薦されなかった場合は、検定料は返還されませんので、あらかじめご了承ください。

### 3. 応募方法

1) 提出書類：応募資格を確認し、以下のすべての書類を提出して下さい。

<b>A. 推薦出願書</b>	出願のためには、 <b>2026年7月3日（金）</b> から難民高等教育プログラムのホームページ（ <a href="https://rhepalliance.org/application">https://rhepalliance.org/application</a> ）上で公開されている出願書を作成して下さい。 <b>出願書のフォーマットは毎年変わりますのでご留意下さい。</b>
<b>B. 証明写真</b>	証明写真を推薦出願書（1ページ目）に付けて下さい。
<b>C. 卒業・学位取得（見込）証明書および成績証明書</b>	最終学歴の教育機関発行の卒業・学位取得（見込）証明書および成績証明書。証明書を入手できない方は学歴に関する陳述書（成績に関する説明を含む）を提出して下さい。
<b>D. 日本語能力を証明する書類</b>	日本語検定試験の結果、日本語学校の修了書及び成績など、大学の授業を受けるのに必要かつ十分な日本語能力を有するという事を証明する書類。定型はありません。
<b>E. 英語能力を証明する書類</b>	TOEFL、IELTS または TOEIC の成績証明書
<b>F. 推薦状 1 通</b>	推薦状は A4 で 1 枚から 2 枚程度にして下さい。推薦者は推薦状を封書に入れ、署名により封印をし、被推薦者の名前と「難民高等教育プログラム推薦選考の為の推薦状」と明記して被推薦者に渡して下さい。なお、推薦者は家族・親族の方を除きます。
<b>G. 難民の身分に関する証明書</b>	<b>（注意：以下の書類は正本ではなくコピーを提出して下さい）</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 在留資格を示す書類（在留カードの写し*）</li><li>2. 世帯全てを示した住民票記載事項証明書（または住民票）</li></ol> 上記 1、2 に加え、下記の 3 から 6 のいずれか一つ（難民の子弟の方は、実親の難民の身分に関する証明書の写しとともに外国人住民登録書など親子の関係を示す地方自治体発行の書類） <ol style="list-style-type: none"><li>3. 難民認定証明書</li><li>4. 難民事業本部が発行する定住経歴証明書（インドシナ難民の方）</li><li>5. 法務省の発行する第三国定住難民であることの証明書または第三国定住難民の子であることの証明書（第三国定住難民の方）</li><li>6. その他、難民としての身分を示す書類</li></ol>

	<p>a) 難民申請の結果、人道的配慮によって在留を特別に認められた方については、担当弁護士、もしくは難民申請の手續きにおいて支援をした経緯のある NGO などの機関が作成した難民申請の背景に関する申告書を提出していただきます。</p> <p>b) (明示的または非明示的に) 日本において国際保護を受けている方で、かつ日本において難民申請の経緯のない方については、政府機関発行の証明書もしくは身分を示す書類等、または来日に際して、もしくは日本における在留を実現するに当たって支援をした経緯のある NGO などの機関や弁護士等が作成した国際保護の必要に関する説明書を提出していただきます。提出していただいた説明書や証明書が要件を満たしていない場合は、追加で証明書の提出をお願いすることがあります。</p> <p>c) 補完的保護対象者：補完的保護対象者認定証明書</p> <p>*外国人登録証明書が在留カードとみなされる期間はどちらのカードでもかまいません。</p>
<p><b>H. 家計を示す書類</b></p>	<p>父、母、出願者を含むその他の家族で家計を維持されている<u>すべての方</u>の年収・所得金額（申込の前年 1 年分）を示す書類（確定申告、源泉徴収票、給料証明、など）。親族等、扶養義務者による扶養（仕送り等の援助）の金額を示すもの、もしくは奨学金、就学支援金、その他の生活支援や生活保護など社会保障受給額を示すもの。</p>

- 応募書類は封筒に「難民高等教育事業応募書類在中」と赤ペンで書き、以下の住所まで簡易書留で郵送して下さい。
- 提出書類は全て 8 月 3 日（月）消印有効とし、8 月 3 日（月）を過ぎた消印があるものは受け付けません。郵便事情により多少日数がかかる場合もありますので、早めに提出して下さい。
- 応募書類は一切返却いたしませんのでご了承下さい。
- 応募書類を複数回送付することとはご遠慮下さい。

2) 応募締切 **2026 年 8 月 3 日（月）（消印有効）**

3) 応募書類提出先

〒102-0084

東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイム 431 号室

RHEP 難民教育推進協会気付 UNHCR 難民高等教育プログラム事務局

#### 4. 選考

選考は書類選考、筆記試験、及び面接です。

1) 書類選考:

a. 書類選考:

応募受付：2026 年 7 月 3 日（金）～2026 年 8 月 3 日（月）（消印有効）

締切日を過ぎて到着した応募書類につきましては、原則として受付いたしませんのでご了承下さい。

**書類選考の合否結果については、8 月中旬までに、郵送をもって通知いたします。**

b. 筆記試験：

日時：2026 年 8 月 22 日（土）

場所：オンライン実施（詳細は出願後書類選考通過者に配布される受験票に記載）

上記の筆記試験日程は予定です。最終的な日程は、変更されることがありますので必ず書類選考の合格通知及び受験票をご参照下さい。

試験内容：筆記試験は、日本語の試験、及び小論文を含みます。

c. 面接:

日時：2026年8月29日（土）

場所：オンライン実施（詳細は出願後書類選考通過者に配布される受験票に記載）

上記の面接日程は予定です。

最終的な日程は、変更されることがありますので必ず書類選考の合格通知及び受験票をご参照下さい。

- 電話や文書、メール等による合否の問い合わせには一切応じません。
- 推薦者の最終決定は UNHCR、RHEP 難民教育推進協会、教育機関/難民支援機関、及び語学学校関係者から組織される選考委員会が行います（予定）。
- 選考委員会の判断に基づき、合格者が募集人員に満たない場合もあります。

## 5. 早稲田大学への推薦・早稲田大学による選考

早稲田大学における選考については、本プログラムによる推薦合格者に追ってご連絡いたします。大学への最終的な合否は、早稲田大学が決定します。なお、本プログラムの学生として奨学金を受ける者は、大学入学後、下記の報告・活動が義務付けられます。

- ① 学習報告レポートを、年2回 RHEP 事務局へ提出すること。
- ② RHEP 定期フォローアップ会合、および卒業後のインタビューへ参加すること。
- ③ 在学中に少なくとも一回、RHEP プロジェクト（☆）を主体的に実施すること。

（☆）例えば、セミナー等にスピーカーとして参加するなど

※以上詳細に関しては、大学への入学が決定した後、RHEP 事務局から説明があります

## 6. お知らせと免責事項

受験者への公平性を保つために、UNHCR、RHEP 難民教育推進協会及び選考委員会は、書類選考の過程、試験内容や合否に直接関わるような事柄については一切お答えしておりません。また同プログラムは受け入れ大学との協働によって実施されますが、推薦者の選考につきましては、プログラムの枠組みの中で行われますので、早稲田大学大学院へのお問い合わせは一切ご遠慮ください。一方で、大学院の受験を希望される方は、事前に希望大学の教授等にコンタクトをとり、希望する研究テーマを学ぶことができるか必ず確認のうえで出願してください。

なお、出願校を選択する際に現在の居所から所在を移す必要があることもあります。又、年次、希望の学部などによっては、希望校の中でも、キャンパスの場所が変わることもあります。又、未成年が出願する場合、出願校及び学部の希望については、ご家族・保護者とよく相談をして当プログラムに出願して下さい。

UNHCR 及び RHEP 難民教育推進協会は、内部で定める守秘義務規定に沿って、個人情報の保護に努めます。出願者に関する個人情報を同事業及び同事業実績のとりまとめ、統計データの作成や広報活動等の業務遂行上必要な目的にのみ使用します。また、出願者に関する個人情報は早稲田大学への推薦のために、必要に応じて同大学に提供されます。

\*プログラムは 2025 年より、UNHCR 駐日事務所と RHEP 難民教育推進協会が共同して運営しています。

以上